

賀茂別雷神社の氏人の官名と実名

―「永正七年・天文六年御籍写」

（國學院大学圖書館収蔵座田家旧蔵書五七二）の考察―

辰
田
芳
雄

賀茂別雷神社の氏人の官名と実名

―「永正七年・天文六年御籍写」

（國學院大学圖書館収蔵座田家旧蔵書五七二）の考察―

辰田芳雄

※東京大学史料編纂所研究成果報告書二〇二〇―三
「賀茂別雷神社の所領と氏人」からの転載

はじめに

賀茂別雷神社文書を対象に研究を進める際、無年号の文書の場合、登場する神主（社司）や社家の氏人により年号の判定を行うことがしばしばある。しかし、賀茂別雷神社文書には氏人の実名と官名が同時に記されることはほとんどない。そこで、官名から実名を知る際には、『神道大系 神社編八 賀茂』（一九八四年）所載の「賀茂社家系図」（以後、神道大系本と略す）や賀茂県主同族会所蔵「賀茂祢宜神主系図」（以後「系図」と略す）を利用するなどの方法を採る。ところが、官名は「上賀茂社家十六流」の氏人のなかで世襲的に継承されることもあり、時期の判定が難しく、なかなか適当な実名を得にくい。

そこで、國學院大学圖書館所蔵座田家旧蔵書五七二「永正七年・天文六年御籍写」¹を分析して、永正七年（一五二〇）や天文六年（一五三七）時点での実名と官名の対照表を作成し、賀茂別雷神社文書研究の便宜を図ることにした。賀茂別雷神社文書には氏人中置文と称される文書

が数多く残っており、末尾に多くの氏人の官名が記され、花押もある²。特に、永正七年に三通、永正八年には八通あり、多くの官名と実名を対応させることが可能である³。また、天文六年には一二通の職中算用状があり⁴、同様な成果が期待できる。

一 御籍（みふだ）

御籍（御札）とは、神主以下二一社司が番頭となり、氏人はその二一組に編成されたが、その氏人を明示するために作成された名札の称である。上賀茂社に御籍屋（みふだのや）と称する舎があり、二一番ごとに官名と実名を記した名札（小短籍⁵）が掛けられていた。二一番とは、神主・正祢宜・正祝・権祢宜・権祝・片岡祢宜・片岡祝・貴布祢祢宜・貴布祢祝・新宮祢宜・新宮祝・太田祢宜・太田祝・若宮祢宜・若宮祝・奈良祢宜・奈良祝・沢田祢宜・沢田祝・氏神祢宜・氏神祝である。一般に氏人は三手、十手に編成されていたが、一方で常時このような二一番

に編成されていたのである。三手は氏人の居住地域である東手・中手・西手に区分した組織であり、十手は往来田を持つ氏人一四〇人を単に一四人ずつ均等に割り振った組織であるが⁷、御籍の組織は二二番編成で神主から氏神までの社格に差がある社司に率いられたのである。しかし、室町時代末期以後、諸国の社領からの年貢取納が途絶えたため、神事を勤仕できなくなり末社の社司が務められなくなり⁸、闕職の社司もあつた。

二 永正七年御籍写

永正七年（一五一〇）に御籍改が実施された。「系図」中の氏人の注釈を参照すると、御籍の筆者は五番権祝観平（みつひら）であつたことがわかる¹⁰。御籍写では、例えばこの観平の部分は、「五々 権祝」の後、「元平弟 正五位 堯平父 宮内少甫 観平」となっている。通常の御籍の表記は、「宮内少輔 観平」あるいは「正五位 観平」¹¹であつたようである。この時の御籍は前者のように官名と実名のみが記されていて、親族の関係などの情報は後に付加されたものと思われる。永正七年分の後書きによれば、この御籍写は、寛文二年（一六六二）六月二十三日に氏増¹²の家にあつた「本紙」と観平の自筆本とを校合したもので、保可¹³の家にあつたものとも校合して「相違之文字」を付け

加えたことが記されている。寛文二年には氏増・保可とも存命であるから、この記事に矛盾はない。天文六年御籍写には「相違」の文字はないが、永正七年には一か所ある。

氏増の家にあつたという親族の関係などの注書は、いつ書かれたものであるうか。六番片岡祢宜の二番目「有松大夫・保氏」の注書に注目しよう。頭注には「保森父」とあり中の注には「保祐非祖父」（非祖父は曾祖父のこと。非祖父は非祖と略されることもある）とある。保氏は保森の父にあたり、保祐の曾祖父である。「系図」で確認すると（神道大系本では五四五頁）、保氏―保森―保総―保祐の親子関係が見て取れ、確かに保氏は保祐の曾祖父である。「系図」での保祐の注書には「寛文四年三七死年六十一」とあるので、保祐の生年は慶長十年（一六〇五）であるから、御籍写の注書は、一七世紀の初期以降であろう。なお、注書は頭注・中注・下注の三方所があり、それぞれ別人・別時期に注されているのかもしれない。

これらの親族関係の注書は、「系図」の後代の人物との対照を可能にし、その結果多くの氏人を特定に成功したので、かなり正確な記述であると言える。さらに、永正七年時点での氏人の官名（あるいは逆に実名）が特定できた。「系図」には記されていない官名情報も入手できた。例えば、二番正祢宜の八番目株直の官名は、「系図」では（神道大系本では四四一頁）「因幡」とあるが、御籍写では「福千代大夫」とあるので、

株直の官名は当時福千代大夫で、おそらくのち因幡守成をしたことがわかる。また、六番片岡祢宜の五番目「福若大夫・保真」は、「系図」では（神道大系本では五三二頁）「左近」とのみ書かれているが、御籍写の中注では「保金父・右近将監成」とあり、官名が福若大夫から右近将監となり、さらに左近将監となったことがわかる。なお、天文六年御籍写の一番神主の三番目に「左近将監・保真」があり、中注に「左近将監金之父」（「金」は保金）とある。保金は「系図」では菊寿・保金とあるから（神道大系本では五三二頁）、保金の官名も菊寿大夫から左近将監に転じたのであろう。

御籍の氏人が「系図」にない場合、後掲する御籍写官名・実名対応一覧表（表一）の神道大系本のページ欄には「不明」と記している。御籍には合計二〇七人の氏人が記載されているが、そのうち三一人は注書を参照して見ても「系図」にその存在を見いだせない。つまり、「系図」に記載のない氏人も相当数存在し、御籍にはその記載があるということである。御籍写の注書には「見系図」などの「系図」を相対化した表現が見られるので、「系図」には見られないものもあることを示唆している。

以上のように御籍写により「系図」の注には見られない情報が多く得られる。後掲する表一には、「不明」以外にも「系図」に記されていない官名情報には便宜のため官名の末に「*」印を付けて置く。

三 天文六年御籍写

天文六年（一五三七）にも御籍改めが行われた（表二）。その写が永正七年分の後に続くものである。残念なことに天文六年分は、一番神主は八人分のみでその後は欠落し、二番正祢宜・三番正祝のすべて、四番権祢宜の前半分が欠落している（用紙二枚分に相当する）。さらに、一九番沢田祝以後のすべてが欠落している。この天文六年御籍の筆者は観平の息である堯平である¹⁴。

永正七年御籍写と同様に注書は頭注・中注・下注の三カ所にある。頭注とまったく同じものが中注にあるものがあるので¹⁵、頭注と中注とは別に時期に記された可能性がある。八番貴布祢祢宜の九番目命若大夫・氏友の頭注には「氏道非祖」がある。氏道の曾祖父が氏友であるという注書である。「系図」での氏道の注書（神道大系本では三七一頁）には、宝永二年（一七〇六）三月二十五日に八十五歳で没したとあるので、生年は元和八年（一六二二）である。従って、この頭注は一七世紀の中頃に書かれたものであろう。

永正七年御籍写の注書とは異なり、故人の記載がある。例えば五番権祝の八番目鶴千代大夫・信直の中注に「故命若子」とある。「系図」では信直の父は、貞直であるからこの注書の時には没していたことがわか

る。そうした例が他に八例ある。また、「見前」「見前了」の注記がある。これらは、悉く永正七年御籍に登場した氏人であるから、天文六年御籍写は永正七年御籍写を参照していたことがわかる。

「系図」に御籍の情報が参照されている場合もある。一七番奈良祝の二番目乙大夫・清正は、「系図」では清連に該当するようである（神道大系本では四〇六頁）、清連の注に「御籍二清正二作」とある。但し、「系図」の官名は乙千代で微妙に異なっている。

下注の多くは氏人の実名に関する注であるが、「メ」と記されたものが一三人ある。永正七年御籍写にも一番の三番目経平の「メ歟」を含め三人ある。天文六年御籍写の四番の最後菊寿大夫・兼充の下注は「女」である。一六番の二番目千松大夫・保秀の下注には「女子」とある。「メ」が「女（め）」の略字である可能性が高い。

御籍写の注書には特有な表現があるので、ここにまとめておく。①「一」（縦棒）を含む氏人の実名は、一六流の通字が省略されたものである。②昆は兄。③祖は祖父。④非祖あるいは非祖父は曾祖父。⑤「山々々」は通常は「出」の異体字であるが、ここでは「歳」の略字である。⑥「座記」は「目録」五五七賀茂社氏人座次第事（鳥居大路堯平筆）¹を指すと思われるが、調査ができていない。

四 國學院大学図書館所蔵座田家旧蔵書五七一「永正七年・天文六年

御籍写」の翻刻

翻刻にあたり、文字の墨抹や訂正についてはそれを記さず、訂正後の字のみを翻刻した。墨線で文字位置が変更されているものもそれを記さず、変更の結果を記した。読めない文字は□とした。翻刻者の注は、※以下に記した。

賀茂別雷神社座田家文書 リール一八 五七一
永正七年・天文六年御籍写

永正七年
天文六年 御籍写

一番ヨリ四番之間欠、又
十九番以下欠、追可補

△定結番之事 永正七年四月 日

一番 △数久ハ松下神主棟久三男初氏後神主也

馬場ノ神主ノ繁久男

神主 賀茂縣主 茂久

神主
種久男 民部少輔 大系圖見下
委下家也 数久

慶光大夫 経平 メ歟

阿波守

久治

登祖

右馬助

保説父

保連

定祖

淨菊大夫

保子父

保出

※保蔵

豊後守

喬嶺少領之
時代之人也

成頭

修理允 座記ニ不審セリ

成盛

成高祖歟

千世鶴大夫

成信

氏頼男

預大夫

下野守

氏幸

兼誠父

別當大夫

周防守

兼親

二番正祢宜

肥前守

保武・保益父

保廣

清主弟

大膳亮

清賢・清意・清
善・清之亮孫也

清尚

龜壽大夫

保異祖父

保房

尚頭父

六郎大夫

掃部助慶頭祖父

友頭

氏直祖

内蔵助

氏頭

祐幸弟

初壽大夫

元幸

氏則父

鶴若大夫

異本ニ鶴彦大夫

氏胤

賢直父

福千世大夫

金十郎祖父

株直

老松大夫

季弘

三番

正祝

重弘

治部少輔

奈下家見系図

嘉久

親祢宜

繁久男

雅楽頭

同系図見了

幸久

顯平孫

藏人頭

並尊男・正平弟・觀
平親・龜平男也

国平

福石大夫

保持

清親祖

增鶴大夫

清孝父

清貞

三河守

重治

志广守

成富

讚岐守

氏秀祖父

理氏

初壽大夫

房幸之祖父

成幸

乙石大夫

氏定父尾張也

氏明

四々

權祢宜

重勝

正祝
重秋男

筑後守

正祝家子
系図了

重勝

景久父

春若大夫

杜笛之師也

安久

能勝男

上総守

能宗

光石大夫

戲鸞之父

清延

岩壽大夫

本頭

右京亮

氏保

孫光大夫 幸直

鶴壽大夫 弘直

氏觀祖 縫殿頭 氏昌父 氏隆

兵部丞 氏富

五々 権祝 正位 五平父

元平弟 宮内少甫 觀平ミツ

遠江守 清職

保寬昆 龜夜又大夫 保武

宮壽大夫 保隆

治部大甫 座記ニ不審スル 重正

吉顯祖 初壽大夫 音顯父政俊歟 出顯

祐幸父 藤右京進子 廣幸祖父 季幸

和泉守 諸氏

若狭守 宗富

六々 片岡祢宜 能延

福菊大夫 保氏

保森父 有松大夫 保祐非祖父

鶴乙大夫 清活

棟祖父 河内守 清秋・清廣父 清主

福若大夫 保金父右近將監成 保真

豐鶴大夫 成国

加賀守 實直

奈良大夫 助氏

千代鶴大夫 宗富男 宗慶

片岡祝 賀久春一父 森 泰久

慶若大夫 社司子見系図 師久

七々 孫福大夫 昌久・一芸・三久父 久親

有福大夫 能貞

伊賀守 重直

摂津守 保貞

淡路守 氏治

命藤大夫 信乃實直祖父 盛直

八郎大夫 氏美祖父 盛氏

彦有大夫 氏誠

鶴姿大夫 氏豊父・氏泰祖父 氏兼

八々

キフ子祢宜

慶千代大夫

与頭大夫 今ハ伊予寺

下総守 元久昆

宮藤大夫 清承家筋

豊光大夫 孝顕・充顕祖父

藤光大夫 兼陽之非祖

初石大夫

帯刀頭 頼直近直祖父

伯耆守 但益氏歟也

九々

貴布祢祝

千代光大夫

尾張守

豊前守 保見祖父
相違也

駿河守

福恠大夫

七郎大夫 元顕ノ父

備中守

忠平

保勝

季久

保則

豊顕

兼継

季富

家直

康氏

宣平

保元

保富

永久

保光

次顕

季知

十々

孫恠大夫 氏右之父

命有大夫

新宮祢宜

越前守

左馬助 豐守良 顯平孫也
出羽守 顯平彦

出雲守

乙千代大夫

尾張守

福増大夫 清佐之父

福恠大夫 保望之伯父斬跡

遠江守 貞顕高顕父也

龜大夫 極部頭子
異稱豊大夫

三郎大夫 丹波守季賢孫
實養貞ノ字 但益記 顯載

十一々

新宮祝

千光大夫

大炊頭 久有二男歟

隼人正 清忠之祖父

左京進 保望之祖父

敏直

氏茂

元平

保兼

保能

諸久

保充

清永

保敏

季顕

清顕

隆平

直久

清憲

保茂

※「系図」は季資

※「系図」は保見

龜一大夫 保憲

左衛門大夫 光頭

五郎大夫 善頭

相違也

掃部助 惟氏

氏每祖父歟

龜千代大夫 泰俊

長俊祖父之昆

十二々 太田祢宜 能家

美作守

富久父 宮鶴大夫 元久

上岸季久弟

善哉大夫 保明

名射 千代石大夫 保友

乙大夫 保常

相違也

貞後弟 福鶴大夫 重俊

荒丹後ト云ト人リ

兵庫頭 成重

一ト大夫 秋頭

徳父 犬大夫 季重

季健祖父

命壽大夫 吉直

十三々 太田祝

禪主 見因了

貴久弟 右近將監 柰下家歟

伊予守

左近將監

清佐父 土佐守 虎石祖父

民部丞

龜福大夫

有壽大夫

方一祖 隣大夫 孝顯父

長俊祖

福壽大夫 定俊父

十四々 若宮祢宜 久種

式部少輔 久種

相違也

幸福大夫 久種彦

安藝守

佐渡守

福奈大夫 福光大夫

千代福大夫

福鶴大夫 氏長祖父

氏延

久種

定勝

保家

清富

重秋

保滿

胤頭

常顯

茂俊

隆久

種久

保幸

保理

勝重

能明

茂力

氏延

龜千代大夫 成能父 成兼
龜千代大夫 氏勝

十五々

若宮祝

相違也

筑後守 式部隆久子

安房守子

千鶴大夫 久清親

千夜又大夫 保望父

龜大夫

掃部頭 堯顯祖父

相違

座記三不審スル

治部大輔

重正子也

石見守

相違 加賀重孝同 時人也、非別名

相違也

但馬守 成盛子成俊歟

相違也

丹波守 季孝男歟

實者季慶祖父

十六々

奈良祢宜

幸若大夫 社司子歟

伊豆守 保房父

老岐守 成朝・成定祖歟 成隆

飛驒守 座記三不審歟 成實

相違也

千代菊大夫 成高・成知父祖歟 成粒

鶴壽大夫 修理進成傳父 成種

豐彦大夫 視後分 氏在

幸夜又大夫 兼行父 兼明

長松大夫 季慶父 季延

福乙大夫 氏觀父 氏昌

十七々

奈良祝 慶乙大夫 好平

加賀守 成賀 成家

修理亮 成貞 成貞

鶴夜又大夫 氏相祖父 氏繼

鶴夜又大夫 兵部大夫太刀人 兼藤

増父

七郎大夫 季親 季親

次郎大夫 季位・季佳祖父 季守

虎寿大夫 因幡守重貞父歟 新者連子歟 常直

十八々 沢田祢宜

実口ハ治部少甫ト云也、長壽人トアリ

出羽守 准定平顯平代

龜壽大夫 租久・高久清兄弟歟

猶有大夫

―貞伯父 福若大夫 後号左近大夫

信濃守

彈正少弼

長門守

兼明父

対馬守

十九々

沢田祝

鶴徳大夫

清全父

初鶴大夫

―継父

豊乙大夫

信直父

氏敏祖父

清平

久利

保忠

重忠 ヌ

為顯 ※「系図」は遠顯

成政

光幸

兼家

季盛

保親

―方父歟

清延

弥出歟

宗幸

季永

重幸

貞直 教直祖

氏主

兼増祖

季兼父

左京亮

廿々

氏神祢宜

慶福大夫

保名父

季實父

季泰父

株直父

氏倫父

相違

季増父

廿一々

氏神祝

雅楽助

有千代大夫

備後守

出鶴大夫

大炊助

藤寿大夫 兼在・兼賢父

季政非祖父

藤四郎保孝祖

甲斐守

長福大夫

季理季郡ノ祖父

越後守

金十郎非祖父

小蔵大夫

氏堯祖父氏秀

幸受大夫

季親

氏神祝

雅楽助

有千代大夫

備後守

出鶴大夫

保連弟絶跡

大炊助

兼村

季敏 持祖

季隆

保永

保昌

季廣

季武

諸直

季兼

勝隆

用久

保達

保宗

氏永

氏永

氏永

氏永

氏永

氏永

氏永

氏・氏類父修理進 氏説・氏頼父 国氏
 茂直父 紀伊守 秀直祖父 安直
 氏相父 亀鶴大夫 氏直
 氏敏父 備前守 氏主男 氏廣

右所定如件

永正七年四月日

時所司豊後守成顕

彼代大蔵少輔正五位下観平

本昏在于氏増之家也

寛文二年六月廿三日以観平之自筆

之本而令校合了、則保可家有之

相違之文字附其傍者也

△定決番事 天文六年五月一日 六月日イニ

△後奈良院御宗入寛文三年迄八百七十七年也

一番

神主 天文六五廿九從三位 明久
 正四位下 出羽守 散位準光平代 経平
 左近将監 左近将監金之父 保真

豊後守 阿波守元顕父 次顕
 修理亮 成貞
 鶴寿 民部少輔 備前成義顕父 秀顕
 増寿 右兵衛大夫 宗顕
 万千代大夫 大夫将監成次顕父 成根

(※一番の続き、二番・三番、四番の前半は欠)
 (※四番の前半は欠)

慶一伯父 智大夫 筑後ノ子・賢顕父 安顕 典一昆
 双子半 千代鶴大夫 成数子・成秀父 成高 成數男
 常陸守 左近将監子 幸直
 左馬頭成
 氏観祖 肥後守 氏昌父 氏隆
 上野守 氏富

兼親孫 菊寿大夫 兼誠子・兼綱弟 兼充 女

五々権祝 | |

神主補久保 尊若大夫 治部大正成 知久 見系図
 嘉久男 從五位上
 春久父 鶴寿大夫 志戸子・雅樂助成 景久
 清棟伯父 大膳亮 河内成 清秋
 從五位上
 重祐父 駿河守 重達伯父 重吉

違字歟 初寿大夫 音顯父歟

彈正少弼

出顯 ※歲顯
成政

信濃守

季富

親直昆

鶴千代大夫 故命若子

信直

兼光昆

竹寿大夫 同初兼誠子

兼綱

長寿大夫

別部少成也
季逸父

季治

六々片岡祢宜

シマノカミノ子

志广守子

彈正忠成

□久

隱岐守

清春

清廣父

河内守 正五位下道白父

清主

藤左馬子

保善

淨菊大夫

氏顯

七郎大夫

次賴子
右兵衛大夫成

是顯

成晴父

石見守

成相非祖父

成兼

氏孝流

左馬允

氏山父

助氏

季健昆
基伯父也

幸夜又大夫

犬大夫子

季昌

氏家昆

菊千代大夫

尾張氏明子
氏定弟

氏村

太郎大夫 宗賢非祖父

宗相

七々片岡祝

兵部職成
從五位下

金壽大夫

イニ知平
兵部卿從五位下

昌久父

修理進

昌久父

宮内少輔

高顯弟歟

幸寿大夫

龜千代大夫 成信親

美作守 山直非祖父

氏每父

右京亮

氏美祖父

季健父

松千代大夫

犬大夫子

氏賢父

鶴夜又大夫

助氏子

氏之祖父

菊夜又大夫

民部丞□子

宗勝祖父

太郎大夫

左馬允成

八々貴布祢宜

左馬大夫

出羽成
光亨轉守同代

光久父

下總守

上岸元久昆

保周祖父

千代石大夫

保宥非祖父

清承家流

右馬助

和泉成見前

龜増大夫

堯平 親平男

久親 綱久男

重直

茂顯

成知 成高弟

盛直

盛氏

季德

氏山

氏則

宗相 春誤

信平

季久

保国

保則

保正

有千代大夫

常頭弟 五郎大夫 豊前二成 因頭父

刑部少 頼直祖父

氏道非祖 命藤大夫 出羽守二成

光直男 隣大夫 氏父・氏利祖 美作子

彦有大夫

九々キフネ祝

相平非 藏人頭 美作守成 民少 将平父

久清昆 千吉大夫 千寿大夫イ

久誠父・良久子

伊賀守子 幸鶴大夫 彈正忠成 豊福大夫 異徳藏大夫・保友子

藤徳大夫 藏人頭又肥前成

口頭弟 福寿大夫 左衛門尉二成鎮顯祖

氏活男 民部丞 氏右父

雅樂助

氏時弟 梅姿大夫 故譜時氏姪子男 龜夜又トアリ

安直父 命乙大夫 故美作子・治直祖

命光大夫 形少家直子 頼直高直父

成賢

佐頭

家直

氏友

富直

氏正

教平

久高

出久 ※歳久 名辭 伊賀 一若 出羽成

保孝

保賢

兼頭

氏茂

氏種

氏秋 ㄨ

繼直

光直

十々新宮祢宜

久種弟子 三郎大夫 森下家見系圖 嘉久良子也 神主教久良男

久糺父 千代福大夫 久良子

保美伯父 岩福大夫 保在昆

龜福大夫 中務大成季久子

時久父 千代恠大夫 下總守元久子男

髭役 遠江守 富頭・高頭父 トミ

丹波守 見前季孝父

季若祖 次郎大夫 季佐季匡父

石千代大夫 近直父家直子

氏定弟 福石大夫 尾張氏明子

千代鶴大夫

十一々新宮祝

慶光大夫 出羽経平子

保総父 龜大夫 石見保氏子

千代大夫 土佐元久嫡男

清秋弟 甲福大夫 河内清主子

家人 口任 神主

久清

保栄 ㄨ

光久 ㄨ

政久

季頭

季資

季泰 ※「系圖」は季恭

久直

氏家 ㄨ

弘延

在平

保森 イ里

富久

清廣

但馬守

富頭弟 孫七大夫 遠江季頭子

兼頭昆 宮寿大夫 備後二成

宗幸父 若狭守 房幸祖父

季勝子 左京亮 季慶父

季孝昆 福松大夫 季資子

菊松大夫 季盛子

才千代大夫 弘国子弘延子

十二々太田祢宜

季久弟 土佐守 上岸

名射父 伊賀守 名射保孝父

鶴夜又大夫 故佐藤子 保直父

鶴夜又大夫 太田前

清富父 增鶴大夫 中務少成 清孝父

重行父 丹後守 荒丹後有二子

德松大夫 故丹後子

氏豊父 内蔵助 見前了

季政非祖 治部少輔 見前了

乙福大夫

善頭

高頭

遠頭 〆

盛幸

季延

季永

季知 〆

弘高 〆

— | —

元久

保友

保俊 〇 〆

保昏 ※「系図」は保春

清貞

重俊

重政

氏兼

季敏

季宗 ※「系図」は季孝

昌直昆 五郎大夫 美作子

十三々太田祝

見前了 山城前司 神主兼久次男敬久昆也 松下家 見系圖

方久父 猿千代大夫 元久年男

清省男 摂津守 清國父

保道祖 鶴光大夫 故鶴徳子木工助 成 保富保省父

龜福大夫 重俊子

掃部頭

宣頭父 幸福大夫 左衛門大夫成 尊頭作兼非祖父

元俊父 赤若大夫 兵庫頭茂俊子

千大夫 故命若子

季久祖 次郎大夫 治少成季興父

十四々若宮祢宜

式部少輔 山城久種男

光久之祖 三河守 同久種彦也

安藝守

佐渡守

茂勝

賴直

— | —

久種 宗久 生祖

村久

清知

保方 高イ

重行 〆

種頭

長頭 兼弟

常頭

定俊

傳直

季直

— | —

隆久

種久

保幸

— | —

梅若大夫 故大膳亮子石馬允成

龜鶴大夫 故鶴鹿大寺子式大成保古保述非祖父也

龜千代大夫 丹後重俊子

カユタチ 有寿大夫 故掃頭子

氏根弟 大炊助 目馬守子氏和假父

氏房祖 龜十大夫 記伊守成氏長父

猿若大夫 助氏子氏山弟氏朝孫氏尾也

十五々若宮祝

宗久祖 筑後守 隆久男種久父

久清父 式部大輔 見前了

保定昆敷 龜寿大夫 保慶子

乙寿大夫 上野守成

保子父 越中守 保平非祖父

福増大夫 満足大夫成也 兵衛唯成

幸夜又大夫

千代大夫 下野二成

光若大夫 因幡守成

命若大夫 故美作子

氏榮父 龜松大夫 助氏子

清藤

保泉 ※「系図」は保泉

重満 メ

良顕 メ

氏信

氏勝

氏慶

十六々奈良杵宣

幸光大夫 兵部少金久父 山城守成

千松大夫 堀内氏太子

乙千代大夫 辻大膳亮子

龜菊大夫 故下野子保建祖

千菊大夫 越中守子圖書頭成

千大夫 阿波守成子清全兄弟敷

和泉守 見前了

右衛門大夫 見前了

飛驒守

福乙大夫 監物丞成氏規父

兼福父 藤福大夫 兼村子

十七々奈良祝

記伊守 光平目代

乙大夫 辻大膳亮子

縫衣助 従五位下

保筆父 兵庫助 大和守成保見祖父

保容父 小菊大夫 左馬助子

宗久

保秀 備也女子

清□ ※清連力

保亮

保子

清吉

成数 ※「系図」は成信

成種

在氏

氏昌

兼賢

美平

清正 ※「系図」は清連

保房

保富

保男

初乙大夫

季幸弟
内藏亮成

為幸
メ

氏門父

熊千代大夫 大炊助成

氏頼

十九々沢田祝

大刀人

宮内少輔 見前了

兼藤 一

(※以後記事なし)

備後守

見前了

季親 二

筑後守

季守

(※挟み込まれたと思われる別紙有り)

不評

龜寿大夫 飛驒守子

氏□

※「系図」は氏親

明久、元基久

藤千代大夫

兼治

位傳ニ大永三十朔正五位下 新名了此時三十七才也

十八々沢田祿宜

左近大夫 見前断跡

重忠

天文甲六六朔正四位下 同日

清忠父

鶴夜又大夫 故隼人正子

清元

神主還補 三ケ度 天文十六

保香昆

鶴寿大夫 縫衣助子

保良

三廿三從三位、此時六十才ト趣

氏数昆

彦若大夫 甲斐守成

氏説

(裏)

季数父

龜寿大夫 常顯子

孝顕

神主傳ニヨレハ長祿元年ノ生 永正七ニ廿四才

季好祖

兵部丞

季盛

一 数父

大永三ニ卅七才

赤大夫

内藏頭成

季繼

一 虎父

天文十六年ニ六十二才

藤寿大夫 大膳亮成隱岐守成

季清

(※以下に墨抹された三行程の文章有り)

龜大夫 大炊頭成季親子

季増

一 佳父

龜福大夫 大乘寺

氏敏

一 増父

昭和38年5月17日受入

20 | 154

1 國學院大学図書館調査室編輯『國學院大学圖書館収蔵 神道書籍解説目録 第三輯 座田家旧蔵書』（一九八四年）（以後、「目録」と略す）のうち、第七類社家／諸役五七二に解説がある。

2 賀茂別雷神社史料編纂委員会編『賀茂別雷神社史料 1 氏人置文』（賀茂別雷神社、二〇一九年）。ここには、II（土蔵）―B（社司）―I（氏人）の文書が翻刻されている。

3 官名と実名の対応の研究は多くない。A 勘定使起請文に記された勘定使である氏人の実名と、B 近江国船木荘年貢算用状に記された勘定使である氏人の官名とを、花押の比較により対応された事例が知られる（須磨千穎「中世における賀茂別雷神社氏人の惣について（10）」、『南山経済研究』第一巻第三号、一九九七年）。なお、

Aは、II―I―四―四、長享三年四月六日、船木荘下司方米勘定目録（長享二年分）。Bは、II―I―四―二、長享三年四月六日、船木荘本家方米算用状（長享二年分）とII―I―四―五、長享三年四月、船木荘年貢米算用状（長享二年分）。

4 II（土蔵）―I（算用状）―I（職中）の五五天文六年正月二十四日職中方算用状（天文六年分）から六七天文六年十二月十九日一段段別算用状（天文六年十二月）。

5 例えば「右衛門尉 従四下 季枝」「主計頭 保貴」の如し（五七二「寛文三年御籍改記」（國學院大学図書館収蔵座田家旧蔵書）、以下「寛文改記」と略す）。

6 早い例に「嘉吉元年御札」が知られる（「寛文改記」）。御籍は以下の

ように作成されたようである（「目録」五七三賀茂社結番御籍写／御籍秘抄）。嘉吉元年、永正七年四月日（觀平筆）、天文六年五月一日

（異本に六月一日）（堯平筆）、弘治二年六月二十八日（堯平筆）、永祿七年四月五日（堯平筆）、天正十三年六月五日（保望筆）、慶長六年六月二十六日（氏孝筆）、寛永元年六月二十七日（氏孝筆）、寛文三年四月十七日（季通筆）、延宝五年四月十五日（右衛門尉保業筆）、延宝七年八月二十五日（木工権助季通筆）、元祿十五年四月五日（土佐守詮俊筆）、正徳元年十二月十八日（右京亮旨頭筆）、正徳六年五月二十五日（治部権大輔保言）、享保八年五月十五日（志摩守保堅筆）、享保十七年閏五月二十三日（修理権亮清云筆）、元文三年四月十九日（修理権亮清云筆）、元文五年六月二十五日（玄蕃頭兼元筆）、寛保三年四月二十二日（玄蕃頭兼元筆）、寛延三年九月二十一日（隱岐守修頭筆）、寛延四年三月二十八日（隱岐守修頭筆）。

7 須磨千穎「中世における賀茂別雷神社氏人の惣について（1）」、『南山経済研究』第六巻第三号、一九九二年）。

8 須磨千穎「中世における賀茂別雷神社氏人の惣について（9）」、『南山経済研究』第一巻第二号、一九九六年）の代官の項。

9 「社司十七人（但貴布祢祝・新宮祢宜并祝・大田祝四職闕職也、内、從四位下一人、正五位下三人、從五位上六人、從五位下六人、無位一人）」（「寛文改記」）。

10 「系図」の觀平の注書に「当社有職自兼親相承後伝于長男堯平。永正七年神前御籍筆者」とある。

¹¹ 例えば、正徳六年五月二十五日の御籍〔目録〕五七三賀茂社結番御籍写〕や享和二年二月の御籍〔目録〕五七四享和二年御籍下組〕。

¹² 「系図」によれば、氏増は氏主（永正七年御籍では一九番の七）の曾孫、氏敏（天文六年御籍では一八番の一〇）の息である（神道大系本では三七三頁）。慶長六年に従五位下、慶長十六年に従五位上となり、慶長十七年には朝廷での官職として出雲守に任官した。寛永八年九月十日に八四歳で没している。

¹³ 「系図」によれば、保可は岡本保望の曾孫である（神道大系本では五一四頁）。その岡本保望は、保茂（永正七年御籍では一一番の四）の孫、保成（天文六年御籍では一五番の四）の息である。保可は、延宝四年に従四位下となった直後から、神主を八年半務めている。延宝八年には従四位上に昇り、天和三年七月二十一日に五十九歳で没している。

¹⁴ 「系図」の堯平の注書に「当社有職中興之師、門弟有數十人、就中、長資六人所謂保長・季直・孝顕・保省・保望・保親等也、此六流至今行于当社、天文六年・弘治二年等神前御籍筆者」とある。

¹⁵ 例えば、七番片岡祝の一番目「金寿大夫・堯平」や二番「修理進・久親」⁺。

¹⁶ 〔内容〕堯平座席記と呼ばれ後に典拠とされたもの。氏人の官と名を人別に列記。

表一 永正七年御籍写の官名・実名対応一覧表
 永正七年（1510）御籍写・神道大系本の系図ページ

	官名	実名	頁		官名	実名	頁
1番 神主				4番 権祢宜			
1	1 賀茂縣主	茂久	412	4	1 筑後守*	重勝	448
1	2 民部少輔	数久	410	4	2 春若大夫*	安久	412
1	3 慶光大夫*	経平	620	4	3 上総守*	能宗	623
1	4 阿波守	久治	不明	4	4 光石大夫*	清延	382
1	5 右馬助	保連	535	4	5 岩寿大夫	本頭	571
1	6 浄菊大夫*	保歳	542	4	6 右京亮	氏保	371
1	7 豊後守	成頭	580	4	7 孫光大夫*	幸直	432
1	8 修理允	成盛	629	4	8 鶴寿大夫*	弘直	441
1	9 千世鶴大夫*	成信	629	4	9 縫殿頭	氏隆	370
1	10 預大夫	氏幸	378	4	10 兵部丞*	氏富	377
1	11 別當大夫	兼親	596	5番 権祝			
2番 正祢宜				5	1 宮内少輔	観平	621
2	1 肥前守	保広	495	5	2 遠江守	清職	381
2	2 大膳亮	清尚	396	5	3 亀夜又大夫*	保武	495
2	3 亀寿大夫*	保房	495	5	4 宮寿大夫	保隆	不明
2	4 六郎大夫	友頭	593	5	5 治部大輔	重正	625
2	5 内蔵助	氏頭	不明	5	6 初寿大夫	歳頭	571
2	6 初寿大夫*	元幸	634	5	7 藤右京進子	季幸	633
2	7 鶴若大夫	氏胤	378	5	8 和泉守	諸氏	370
2	8 福千世大夫*	株直	441	5	9 若狭守*	宗富	449
2	9 老松大夫	季弘	不明	6番 片岡祢宜			
3番 正祝				6	1 福菊大夫	能延	不明
3	1	重弘	448	6	2 有松大夫*	保氏	545
3	2 治部少輔	嘉久	411	6	3 鶴乙大夫	清活	不明
3	3 雅楽頭*	幸久	412	6	4 河内守	清主	382
3	4 蔵入頭	国平	621	6	5 福若大夫*	保真	531
3	5 福石大夫	保持	不明	6	6 豊鶴大夫	成国	626
3	6 増鶴大夫*	清貞	396	6	7 加賀守	実直	432
3	7 三河守*	重治	449	6	8 松若大夫	助氏	360
3	8 志摩守	成富	627	6	9 千代鶴大夫*	宗慶	637
3	9 讃岐守	理氏	不明				
3	10 初寿大夫	成幸	不明				
3	11 乙石大夫*	氏明	370				

	官名	実名	頁	
7番	片岡祝			
7	1	泰久	414	
7	2	慶若大夫*	師久	411
7	3	孫福大夫	久親	409
7	4	有福大夫	能貞	623
7	5	伊賀守*	重直	447
7	6	摂津守*	保貞	504
7	7	淡路守	氏治	370
7	8	命藤大夫	盛直	432
7	9	八郎大夫	盛氏	371
7	10	彦有大夫	氏誠	371
7	11	鶴松大夫	氏兼	376

	官名	実名	頁	
8番	貴布祢宜			
8	1	慶千代大夫	忠平	不明
8	2	与頭大夫*	保勝	502
8	3	下総守	季久	421
8	4	宮藤大夫*	保則	542
8	5	豊光大夫	豊頭	580
8	6	藤光大夫	兼継	613
8	7	初石大夫	季富	466
8	8	帯刀頭	家直	438
8	9	伯耆守*	康氏	377

	官名	実名	頁	
9番	貴布祢祝			
9	1	千代光大夫*	宣平	622
9	2	尾張守	保元	519
9	3	豊前守	保富	542
9	4	駿河守	永久	421
9	5	福松大夫	保光	522
9	6	七郎大夫	次頭	593
9	7	備中守*	季知	463
9	8	孫松大夫	氏茂	370
9	9	命有大夫*	敏直	431

	官名	実名	頁	
10番	新宮祢宜			
10	1	越前守	元平	620
10	2	左馬助	保兼	522
10	3	出雲守	保能	531
10	4	乙千代大夫	諸久	424
10	5	尾張守*	保充	545
10	6	福増大夫*	清永	404
10	7	福松大夫*	保敏	515
10	8	遠江守	季頭	558
10	9	亀大夫*	清頭	549
10	10	三郎大夫	季資	492

	官名	実名	頁	
11番	新宮祝			
11	1	千光大夫*	隆平	620
11	2	大炊頭	直久	421
11	3	隼人正	清憲	382
11	4	左京進*	保茂	503
11	5	亀一大夫	保憲	不明
11	6	左衛門大夫	光頭	563
11	7	五郎大夫	善頭	594
11	8	掃部助	惟氏	371
11	9	亀千代大夫*	泰俊	427

	官名	実名	頁	
12番	太田祢宜			
12	1	美作守	能家	623
12	2	宮鶴大夫*	元久	421
12	3	善哉大夫*	保明	519
12	4	千代石大夫*	保友	522
12	5	乙大夫	保常	不明
12	6	福鶴大夫*	重俊	456
12	7	兵庫頭	成重	不明
12	8	一卜大夫	秋頭	不明
12	9	犬大夫*	季重	466
12	10	命寿大夫	吉直	438

	官名	実名	頁
13番	太田祝		
13	1 右近将監*	久種	410
13	2 伊予守	定勝	623
13	3 左近将監	保家	541
13	4 土佐守	清富	382
13	5 民部丞*	重秋	448
13	6 亀福大夫*	保満	502
13	7 有寿大夫*	胤頭	558
13	8 隣大夫*	常頭	580
13	9 福寿大夫*	茂俊	427

14番	若宮祢宜		
14	1 式部少輔	隆久	410
14	2 幸福大夫*	種久	413
14	3 安芸守	保幸	501
14	4 佐渡守	保理	542
14	5 福松大夫	勝重	不明
14	6 千代福大夫	能明	不明
14	7 福鶴大夫	氏延	377
14	8 亀千代大夫*	成兼	625
14	9 亀千代大夫	氏勝	不明

15番	若宮祝		
15	1 筑後守	盛久	413
15	2 安房守子	久勝	不明
15	3 千鶴大夫	久良	406
15	4 千夜又大夫*	保成	503
15	5 亀大夫*	保為	519
15	6 掃部頭	治頭	550
15	7 石見守	重倫	625
15	8 但馬守	盛俊	427
15	9 丹波守	季勝	466

	官名	実名	頁
16番	奈良祢宜		
16	1 幸若大夫*	明久	411・620
16	2 伊豆守	保延	502
16	3 壱岐守*	成隆	629
16	4 飛騨守	成實	626
16	5 千代菊大夫	成粒	不明
16	6 鶴寿大夫*	成種	629
16	7 豊彦大夫	氏在	不明
16	8 幸夜又大夫*	兼明	598
16	9 長松大夫	季延	466
16	10 福乙大夫	氏昌	370

17番	奈良祝		
17	1 慶乙大夫	好平	不明
17	2 加賀守	成家	627
17	3 修理亮	成貞	629
17	4 鶴夜又大夫	氏繼	不明
17	5 鶴夜又大夫*	兼藤	596
17	6 七郎大夫	季親	465
17	7 次郎大夫	季守	465
17	8 虎寿大夫*	常直	431

18番	沢田祢宜		
18	1 出羽守	清平	620
18	2 亀寿大夫	久利	不明
18	3 猶有大夫*	保忠	545
18	4 福若大夫	重忠	不明
18	5 信濃守	為頭	563
18	6 弾正少弼	成政	626
18	7 長門守	光幸	不明
18	8 対馬守	兼家	597
18	9 福寿大夫	季盛	463

	官名	実名	頁
--	----	----	---

19番 沢田祝

19	1	鶴徳大夫	保親	537
19	2	初鶴大夫	清延	不明
19	3	越中守	宗幸	不明
19	4	隠岐守	季永	483
19	5	豊乙大夫*	重幸	633?
19	6	命若大夫	貞直	445
19	7	備前守	氏主	373
19	8	藤寿大夫	兼村	597
19	9	左京亮*	季敏	460

20番 氏神祢宜

20	1	慶福大夫	季隆	不明
20	2	大和守	保永	545
20	3	亀若大夫*	保昌	541
20	4	甲斐守	季広	476
20	5	長福大夫	季武	491
20	6	越後守	諸直	441
20	7	小蔵大夫	氏秀	359
20	8	幸受大夫*	季兼	460

21番 氏神祝

21	1	雅楽助	勝隆	不明
21	2	有千代大夫*	用久	410
21	3	備後守	保達	542
21	4	歳鶴大夫	保宗	535
21	5	大炊助	氏永	371
21	6	修理進*	国氏	371
21	7	紀伊守	安直	443
21	8	亀鶴大夫*	氏直	380
21	9	備前守*	氏広	373

官名末*は、「系図」・神道大系本にないもの、異なるもの

表二 天文六年御籍写の官名・実名対応一覧表

天文6年（1537）御籍写・神道体系の系図頁・永正7年（1510）御籍写

番	順	官名	実名	頁	永正7年	番	順	官名	実名	頁	永正7年
一番		神主				六番		片岡祢宜			
1	1	神主	明久	620	⑩-1	6	1		□久	不明	
1	2	出羽守	経平	620	①-3	6	2	隠岐守*	清春	382	⑥-2
1	3	左近将監	保真	531	⑥-6	6	3	河内守	清主	382	⑥-4
1	4	豊後守	次顕	593	⑨-6	6	4	藤左馬子	保善	不明	
1	5	修理亮	成貞	629	⑰-3	6	5	浄菊大夫*	氏顕	571	②-5
1	6	民部少輔	秀顕	550		6	6	七郎大夫*	是顕	593	
1	7	右兵衛大夫*	宗顕	558		6	7	石見守	成兼	625	⑭-8
1	8	万千代大夫*	成根	628		6	8	左馬允	助氏	360	⑥-8
		(以後欠)				6	9	幸夜又大夫	季昌	466	
四番		(以前欠)				6	10	菊千代大夫*	氏村	370	
						6	11	太郎大夫	宗相	637	⑦-11
4	α1	聶大夫	安顕	594		七番		片岡祝			
4	α2	千代鶴大夫*	成高	629		7	1	金壽大夫	堯平	621	
4	α3	常陸守	幸直	432	④-7	7	2	修理進	久親	409	⑦-2
4	α4	肥後守	氏隆	370	④-9	7	3	宮内少輔*	重直	447	⑦-3
4	α5	上野守	氏富	377	④-10	7	4	幸寿大夫	茂顕	563	
4	α6	菊寿大夫	兼充	596		7	5	龜千代大夫*	成知	629	
五番		権祝				7	6	美作守	盛直	432	⑦-8
5	1	尊若大夫*	知久	411		7	7	右京亮	盛氏	371	⑦-9
5	2	鶴寿大夫	景久	412		7	8	松千代大夫	季徳	466	
5	3	大膳亮	清秋	382		7	9	鶴夜又大夫*	氏山	360	
5	4	駿河守	重吉	不明		7	10	菊夜又大夫	氏則	378	
5	5	初寿大夫	歳顕	571	⑤-7	7	11	太郎大夫	宗相	637	⑦-11
5	6	弾正少弼	成政	626	⑩-6	八番		貴布祢宜			
5	7	信濃守	季富	466	⑤-7	8	1	左馬大夫	信平	620	
5	8	鶴千代大夫	信直	445		8	2	下総守	季久	421	⑧-3
5	9	竹寿大夫	兼綱	596		8	3	千代石大夫*	保国	501	
5	10	長寿大夫	季治	482		8	4	右馬助*	保則	542	⑧-4
						8	5	龜増大夫*	保正	503	
						8	6	有千代大夫	成賢	不明	
						8	7	五郎大夫	佐顕	584	
						8	8	頼直祖父	家直	438	⑧-8
						8	9	命藤大夫	氏友	371	
						8	10	隣大夫*	富直	438	
						8	11	彦有大夫	氏正	371	

番	順	官名	実名	頁	永正7年
九番		キフネ祝			
9	1	蔵人頭*	教平	621	
9	2	千吉大夫*	久高	408	
9	3	幸鶴大夫*	歳久	421	
9	4	豊福大夫	保孝	522	
9	5	藤徳大夫*	保賢	542	
9	6	福寿大夫	兼顕	564	
9	7	民部丞	氏茂	370	⑨-8
9	8	雅楽助	氏種	377	
9	9	梅松大夫	氏秋	377	
9	10	命乙大夫	継直	433	
9	11	命光大夫	光直	438	
十番		新宮祢宜			
10	1	三郎大夫	家久	410	
10	2	千代福大夫	久清	408	
10	3	岩福大夫	保栄	546	
10	4	亀福大夫	光久	421	
10	5	千代泰大夫	政久	423	
10	6	遠江守	季顕	558	
10	7	丹波守	季資	492	
10	8	次郎大夫	季泰	491	
10	9	石千代大夫	久直	439	
10	10	福石大夫	氏家	370	
10	11	千代鶴大夫	弘延	641	
十一番		新宮祝			
11	1	慶光大夫	在平	620	
11	2	亀大夫*	保森 <small>イ</small> 里	545	
11	3	千代大夫*	富久	421	
11	4	甲福大夫	清広	383	
11	5	但馬守	善顕	594	
11	6	孫七大夫	高顕	558	
11	7	宮寿大夫	遠顕	563	
11	8	若狭守	盛幸	632	
11	9	左京亮	季延	466	⑩-9
11	10	福松大夫	季永	492	
11	11	菊松大夫	季知	463	⑨-7
11	12	才千代大夫	弘高	641	

番	順	官名	実名	頁	永正7年
十二番		太田祢宜			
12	1	土佐守	元久	421	⑫-2
12	2	伊賀守	保友	522	⑫-4
12	3	鶴夜又大夫*	保俊	542	
12	4	鶴夜又大夫	保昏	546	
12	5	増鶴大夫*	清真	396	⑬-6
12	6	丹後守*	重俊	447	⑫-6
12	7	徳松大夫	重政	不明	
12	8	内蔵助	氏兼	376	⑦-11
12	9	治部少輔	季敏	460	⑲-9
12	10	乙福大夫	季宗	492	
12	11	五郎大夫*	頼直	438	
十三番		太田祝			
13	1	山城前司	久種	410	
13	2	猿千代大夫	村久	423	
13	3	摂津守	清知	393	
13	4	鶴光大夫	保方	537	
13	5	亀福大夫*	重行	447	
13	6	掃部頭	種顕	566	
13	7	幸福大夫	長顕	565	
13	8	掃部助	常顕	580	⑬-8
13	9	赤若大夫*	定俊	427	
13	10	千大夫	傳直	446	
13	11	次郎大夫	季直	462	
十四番		若宮祢宜			
14	1	式部少輔	隆久	410	⑭-1
14	2	三河守	種久	413	⑭-2
14	3	安藝守	保幸	501	⑭-3
14	4	佐渡守	茂勝	623	
14	5	梅若大夫	清藤	401	
14	6	亀鶴大夫	保衆	540	
14	7	亀千代大夫	重満	不明	
14	8	有寿大夫	良顕	566	
14	9	大炊助*	氏信	371	
14	10	亀十大夫*	氏勝	377	
14	11	猿若大夫	氏慶	360	

番	順	官名	実名	頁	永正7年
十五番		若宮祝			
15	1	筑後守	盛久	413	
15	2	式部大輔	久良	408	⑮-3
15	3	亀寿大夫	保口	不明	
15	4	乙寿大夫*	保棟	541	
15	5	越中守	保歳	542	
15	6	福増大夫	清種	404	
15	7	幸夜又大夫	保石	541	
15	8	千代大夫*	成治	626	
15	9	光若大夫	兼隆	613	
15	10	命若大夫	政直	432	
15	11	亀松大夫	氏朝	363	
十六番		奈良祢宜			
16	1	幸光大夫*	宗久	414	
16	2	千松大夫*	保秀	501	
16	3	乙千代大夫	清口	406?	
16	4	亀菊大夫	保亮	495	
16	5	千菊大夫*	保子	542	
16	6	千大夫	清吉	381	
16	7	和泉守*	成数	629	①-9
16	8	右衛門大夫	成種	629	⑯-6
16	9	飛騨守	在氏	370	
16	10	福乙大夫	氏昌	370	
16	11	藤福大夫*	兼賢	598	
十七番		奈良祝			
1	1	記伊守	美平	620	
1	2	乙大夫*	清正	406	
1	3	縫衣助	保房	502	
1	4	兵庫助*	保富	519	
1	5	小菊大夫*	保男	522	
1	6	初乙大夫	為幸	633	
1	7	熊千代大夫	氏頼	373	
1	8	宮内少輔	兼藤	597	⑰-5
1	9	備後守	季親	465	⑰-6
1	10	筑後守*	季守	465	
1	11	亀寿大夫*	氏口	370?	
1	12	藤千代大夫	兼治	597	

番	順	官名	実名	頁	永正7年
十八番		沢田祢宜			
18	1	左近大夫	重忠	不明	
18	2	鶴夜又大夫	清元	382	
18	3	鶴寿大夫	保良	502	
18	4	彦若大夫	氏説	371	
18	5	亀寿大夫*	孝顕	580	
18	6	兵部丞	季盛	460	⑱-9
18	7	赤大夫	季継	485	
18	8	藤寿大夫	季清	597	
18	9	亀大夫	季増	465	
18	10	亀福大夫	氏敏	373	

(以後欠)

官名末*は、「系図」・神道大系本にないもの、異なるもの

表三 永正7年4月27日氏人中置文（B1-77）の氏人120人の官名比
定一覧表

	官名	花押	番	順		実名	頁
1	民部大丞*		13	5	民部丞*	重秋	448
2	福鶴大夫		12	6	福鶴大夫*	重俊	456
			14	7	福鶴大夫	氏延	377
3	預り大夫						
4	淡路守		7	7	淡路守	氏治	370
5	修理進*		1	8	修理允	成盛	629
			21	6	修理進*	国氏	371
6	孫松大夫	花押 1	9	8	孫松大夫	氏茂	370
7	民部少輔		1	2	民部少輔	数久	410
8	讃岐守		3	9	讃岐守	理氏	不明
9	若松大夫						
10	藤寿大夫		19	8	藤寿大夫	兼村	597
11	掃部助						
12	三郎大夫	花押 2	10	10	三郎大夫		不明
13	左京亮*	花押 3	19	9	左京亮*	季敏	460
14	七郎大夫		9	6	七郎大夫	次頭	593
			17	6	七郎大夫	季親	465
15	岩寿大夫		4	5	岩寿大夫	本頭	571
16	備前守		19	7	備前守	氏主	373
			21	9	備前守*	氏広	373
17	縫衣助	花押4					
18	有寿大夫*	花押5	13	7	有寿大夫*	胤頭	558
19	遠江守		5	2	遠江守	清職	381
			10	8	遠江守	季頭	558
20	掃部頭		15	6	掃部頭	治頭	550
21	次郎大夫		17	7	次郎大夫	季守	465
22	備中守*		9	7	備中守*	季知	463
23	尊若大夫						
24	甲斐守		20	4	甲斐守	季広	476
25	周防守		1	11	別當大夫	兼親	596
26	虎寿大夫*		17	8	虎寿大夫*	常直	431
27	千鶴大夫		15	3	千鶴大夫	久良	406
28	亀寿大夫	花押6	2	3	亀寿大夫*	保房	495
			18	2	亀寿大夫	久利	不明
29	孫福大夫		7	3	孫福大夫	久親	409

30	光寿大夫	花押7				
31	筑後守		4	1	筑後守*	重勝 448
			15	1	筑後守	盛久 413
32	初石大夫		8	7	初石大夫	季富 466
33	帯刀頭		8	8	帯刀頭	家直 438
34	隼人正		11	3	隼人正	清憲 382
35	上総守		4	3	上総守	能宗 623
36	福松大夫		9	5	福松大夫	保光 522
			10	7	福松大夫*	保敏 515
			14	5	福松大夫	勝重 <small>茂力</small> 不明
37	雅楽助		21	1	雅楽助	勝隆 不明
38	慶福大夫		20	1	慶福大夫	季隆 不明
39	伊豆守		16	2	伊豆守	保延 502
40	右馬助		1	5	右馬助	保連 535
41	河内守	花押8	6	4	河内守	清主 382
42	伯耆守*		8	9	伯耆守*	康氏 377
43	八郎大夫		7	9	八郎大夫	盛氏 371
44	大膳助		2	2	大膳亮	清尚 396
45	千代鶴大夫*		6	9	千代鶴大夫*	宗慶 637
46	摂津守*	花押9	7	6	摂津守*	保貞 504
47	左馬助		10	2	左馬助	保兼 522
48	与次大夫					
49	歳鶴大夫		21	4	歳鶴大夫	保宗 535
50	肥前守		2	1	肥前守	保広 495
51	丹波守	花押10	15	9	丹波守	季勝 466
			10	10	三郎大夫	不明
52	治部大輔		5	5	治部大輔	重正 625
53	左京進*		11	4	左京進*	保茂 503
54	岡 八郎大夫	花押11	7	9	八郎大夫	盛氏 371
55	ひかし遠江守		5	2	遠江守	清職 381
			10	8	遠江守	季頭 558
56	安芸守		14	3	安芸守	保幸 501
57	豊鶴大夫		6	6	豊鶴大夫	成国 626
58	大和守		20	2	大和守	保永 545
59	越中守		19	3	越中守	宗幸 不明
60	加賀守		6	7	加賀守	實直 432
			17	2	加賀守	成家 627
61	亀千代大夫	花押12	11	9	亀千代大夫*	泰俊 427
			14	8	亀千代大夫*	成兼 625

			14	9	亀千代大夫	氏勝	不明
62	鶴徳大夫	花押13	19	1	鶴徳大夫	保親	537
63	福寿大夫	花押14	13	9	福寿大夫*	茂俊	427
			18	9	福寿大夫	季盛	463
64	愛有大夫	花押15					
65	兵庫頭	花押16	12	7	兵庫頭	成重	不明
66	初寿大夫	花押17	2	6	初寿大夫*	元幸	634
			3	10	初寿大夫	成幸	不明
			5	6	初寿大夫	歳頭	571
67	善哉大夫*	花押18	12	3	善哉大夫*	保明	519
68	隠岐守	花押19	19	4	隠岐守	季永	483
69	内蔵助	花押20	2	5	内蔵助	氏顯	不明
70	越前守	花押21	10	1	越前守	元平	620
71	備後守	花押22	21	3	備後守	保達	542
72	壱岐守*	花押23	16	3	壱岐守*	成隆	629
73	佐渡守	花押24	14	4	佐渡守	保理	542
74	尾張守	花押25	9	2	尾張守	保元	519
			10	5	尾張守*	保充	545
75	右京亮	花押26	4	6	右京亮	氏保	371
76	駿河守	花押27	9	4	駿河守	永久	421
77	大炊頭		11	2	大炊頭	直久	421
78	宮嶋大夫	花押28					
79	松嶋大夫						
80	但馬守	花押29	15	8	但馬守	盛俊	427
81	蔵人頭		3	4	蔵人頭	国平	621
82	雅楽頭*		3	3	雅楽頭*	幸久	412
83	春若大夫*	花押30	4	2	春若大夫*	安久	412
84	越前守	花押31	10	1	越前守	元平	620
85	式部大夫						
86	式部少輔	花押32	14	1	式部少輔	隆久	410
87	右近将監*		13	1	右近将監*	久種	410
88	三河守		3	7	三河守	重治	449
89	藤光大夫		8	6	藤光大夫	兼繼	613
90	対馬守		18	8	対馬守	兼家	597
91	鶴夜又大夫	花押33	17	4	鶴夜又大夫	氏繼	不明
			17	5	鶴夜又大夫*	兼藤	596
92	出雲守		10	3	出雲守	保能	531
93	福若大夫	花押34	6	5	福若大夫*	保真	531
			18	4	福若大夫	重忠	不明

94	千代石大夫*	花押35	12	4	千代石大夫*	保友	522
95	伊予守		13	2	伊予守	定勝	623
96	愛一大夫						
97	信濃守		18	5	信濃守	為頭	563
98	筑前守						
99	和泉守		5	8	和泉守	諸氏	370
100	伊賀守*		7	5	伊賀守*	重直	447
101	福若大夫		6	5	福若大夫*	保真	531
			18	4	福若大夫	重忠	不明
102	十郎大夫						
103	志摩守		3	8	志摩守	成富	627
104	豊後守	花押36	1	7	豊後守	成頭	580
105	豊光大夫	花押37	8	5	豊光大夫	豊頭	580
106	七郎大夫		9	6	七郎大夫	次頭	593
			17	6	七郎大夫	季親	465
107	五郎大夫	花押38	11	7	五郎大夫	善頭	594
108	六郎大夫	花押39	2	4	六郎大夫	友頭	593
109	加賀守		6	7	加賀守	實直	432
			17	2	加賀守	成家	627
110	石見守		15	7	石見守	重倫	625
111	修理亮		17	3	修理亮	成貞	629
112	出羽守		18	1	出羽守	清平	620
113	若狭守*	花押40	5	9	若狭守*	宗富	449
114	豊前守	花押41	9	3	豊前守	保富	542
115	左近将監	花押42	13	3	左近将監	保家	541
116	右京進	花押43					
117	縫殿頭		4	9	縫殿頭	氏隆	370
118	美作守		12	1	美作守	能家	623
119	有福大夫		7	4	有福大夫	能貞	623
120	命藤大夫		7	8	命藤大夫	盛直	432

官名末*は、「系図」・神道大系本にないもの、異なるもの

※東京大学史料編纂所共同利用・共同拠点 特定共同研究（中世）

「賀茂別雷神社文書の調査・研究」研究成果報告書『賀茂別雷神社の所領と氏人』東京大学史料編纂所研究成果報告二〇二〇―三からの転載。末尾に表三を新たに加えた。